

Knights of Labyrinth

ナイト オブ ラビリンス



Pink Shark

ファルシア王国辺境
ゴダンの地下神殿にて

いやー
ほんと
光栄っすよ

かの高名なる聖騎士
レイナード様に

ご同行
いただけるなんて



ゴブリン退治
といっても

新米冒険者の
俺には少々
手に余りますんで

民に被害が
出ているならば、
捨て置く訳には
いくまい……

それにこのゴダンは、
勇者カインと聖霊が
数多の魔神を封じた地

古い言い伝えとはいえ
魔物の住処にするのは
忍びない……

奇特な方っすねえ…
王都の偉いさんは
皆、見て見ぬふり…

村人の陳情に
応えてくれたのは
レイナード様
だけっすよー

私は…
聖霊の御心に
従ったまで

なに…
ゴブリンならば
大事は無い

……。

すぐに
片付くさ

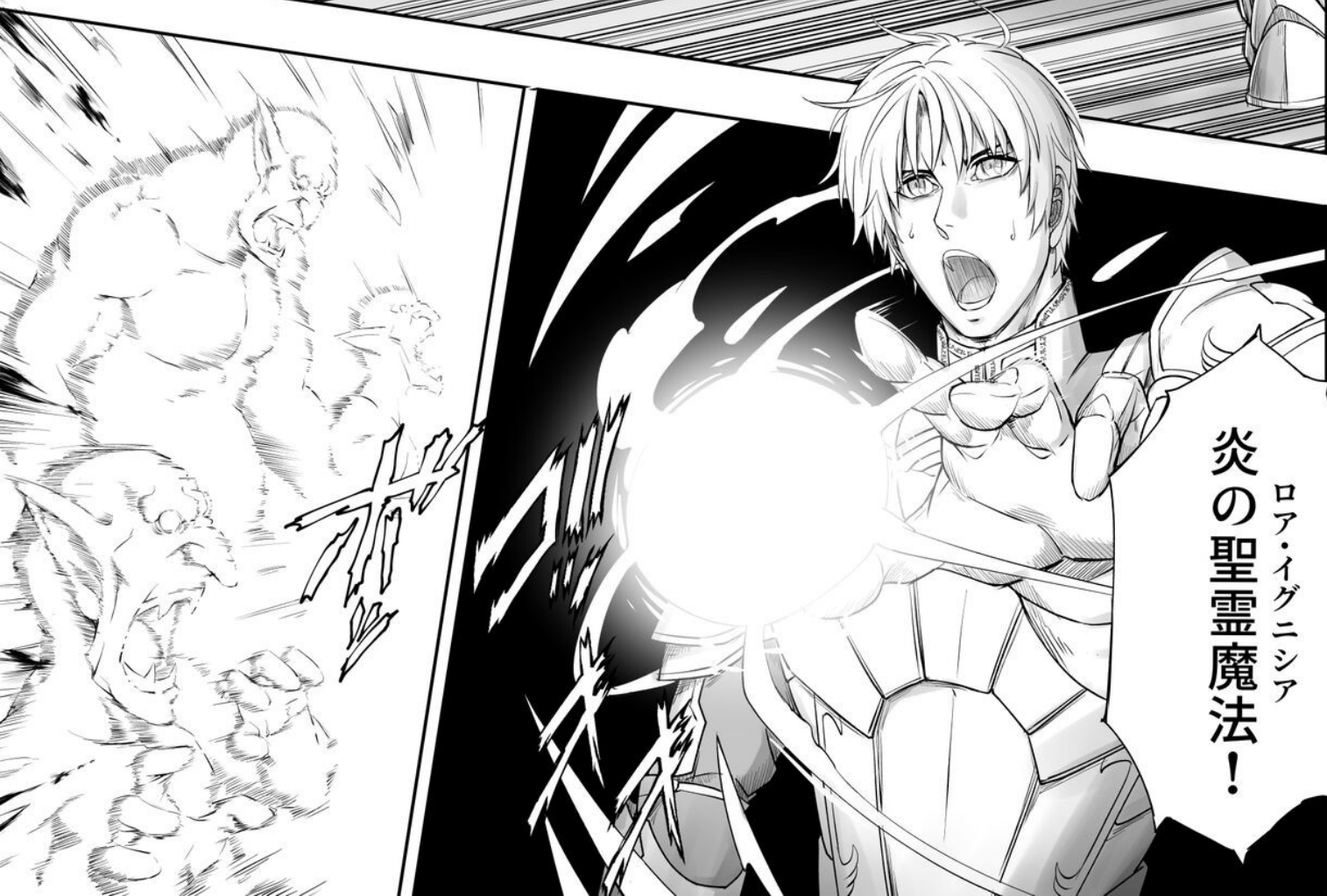






クソオ!

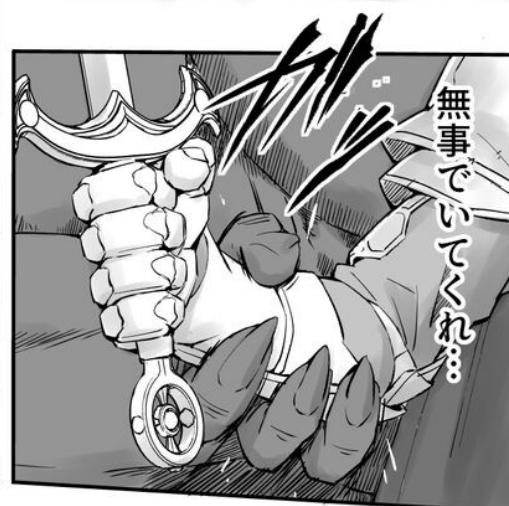
これ程の軍勢、
一体いつの間!



ロア・イグニシア
炎の聖霊魔法!

最初の襲撃で彼と
はぐれてしまった...

探し出して
離脱しないと



グレーターデーモン
上級魔神！





や…やめ！

やめろおおおお！！



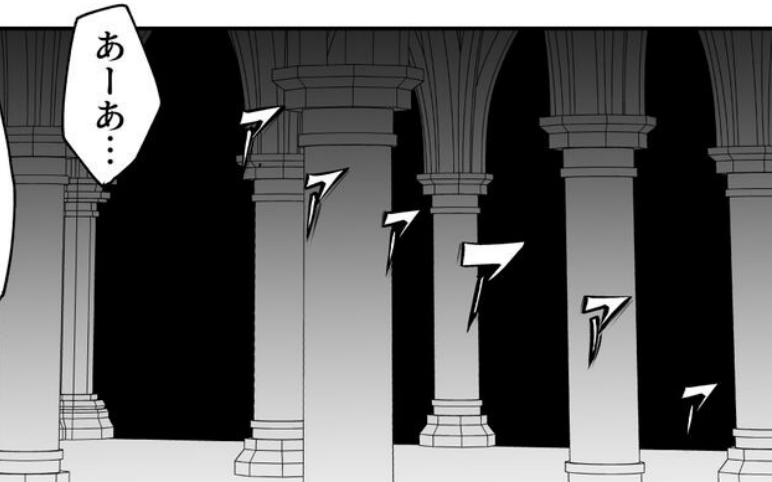
あ…があ

離せえ！！

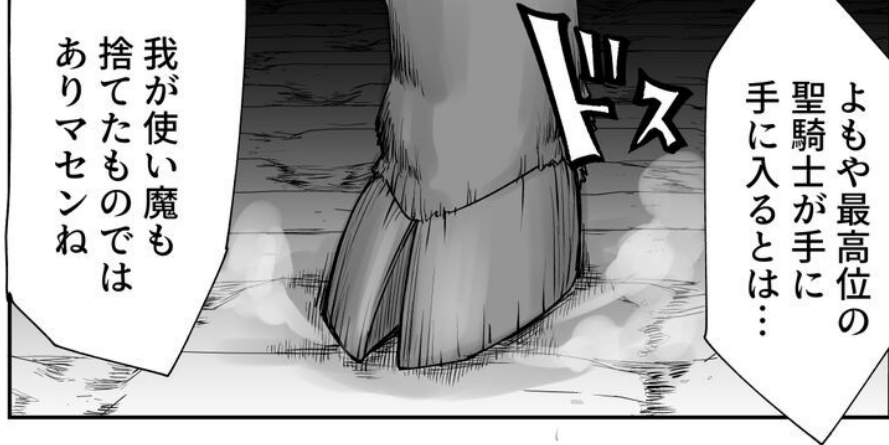


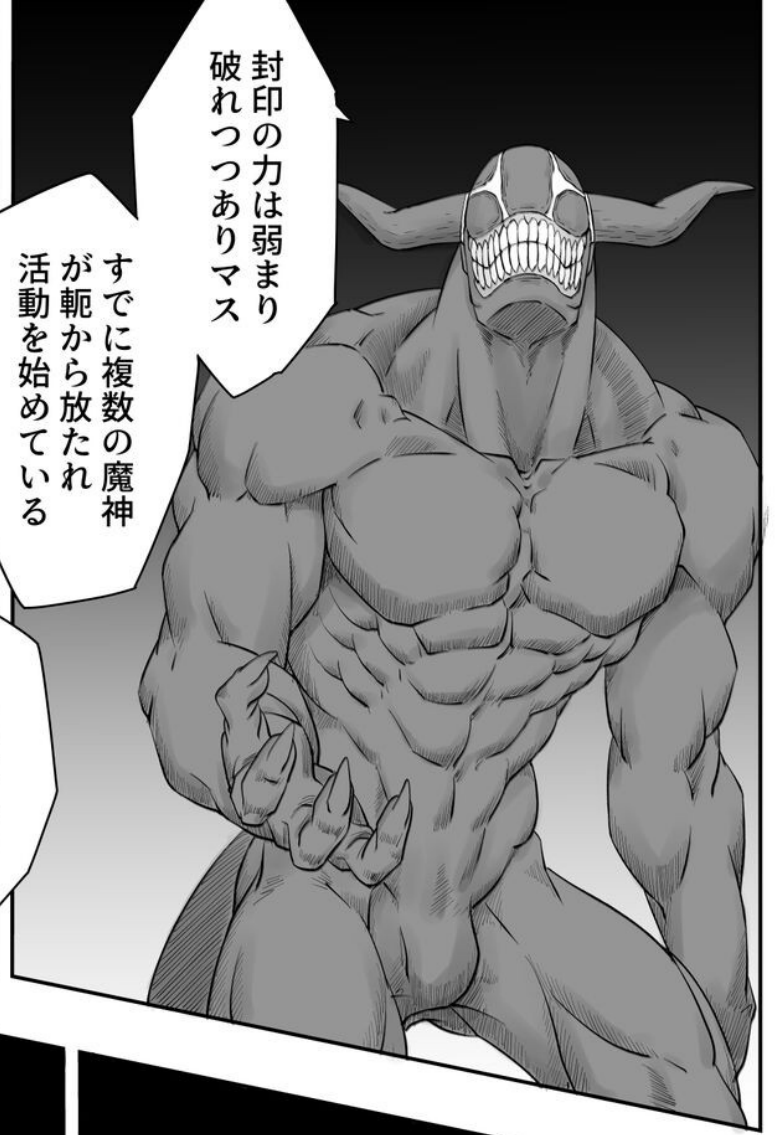
所詮は貴族のお坊ちゃんすねえ…

あーあ…









封印の力は弱まり
破れつつありマス

すでに複数の魔神
が軛から放たれ
活動を始めている

さあ、仕込みを
始めまシヨウ



この魔界の媚薬は、
人間には強すぎる
かもしれませんが

鍛え抜かれた
聖騎士には丁度良い

たあんと
お飲みなさい！

ほうら…
体が熱くなって
きたでシヨウ？

ぐんぐん！

ビクッ

ビクッ

ぐふぐふ！！

ゴホッ



全身が…うずいて…

何だ…これ…

はぁ

我が奴隷に
仕立てあげる
ための場所

ここは貴方のような
聖職にあるものを
犯し墮落させ洗脳し…



気分は
どうデス？

んはぁ

ごほ



かた

けあ

…熱い…熱い

高潔な若者が
快樂に墮し…

私を崇拜する姿は、
想像するだけで
ゾクゾクします！

下腹部が…
焼けるように…

うあぁ

貴方は私の手駒となり
人間界に腐敗と悪徳を
もたらすのデス

オッホオ♡
中々立派なものを
お持ちデスねえ…

この身体の反応といい、
貴方は魔族の信奉者に
なる素質がおりだ

バカな…
こと…を

言う…な

女みてえに
喘いでんじやねえよ…



あの屈辱の日々を
思い出す…

面白い…

魔神が人間を
犯して産ませた
子デスか…

魔族としての
心得…

タップリ教育
してあげま
しょうねえ♡

俺みたいな半人半魔の
下っ端が…

成り上がる為には
手段は選べねえ…

尻穴一つで権力者に
取り入れるなら…

安いもんだと
思ってたけどよお…

御託を並べるてるが、
単にやりてえただけだろ…
エロ魔神がよお



俺はなあ…

そういう趣味はねえ…



…って



何で俺…

こんなドキドキ
してんの？…



ふざ…
けるな

は…
は…
は…

は…
は…
は…

誰が…
魔物の…

ん…
ん…
ん…

あれ？

手先に…
なる…ものか





じっくり
ほぐしていくと
しましょウ

どおれ



中はどんな
具合デスかねえ







随分と溜まって
いたようデスねえ

おやまあ、
ドロッドロに
濃いのがたつぷり
でしたよお…



レ?

殺せ…



クググ

籠絡など
無駄なこと!
さっさと殺せ!!



はあッ

ヒクヒク

ヒクヒク

ヒクヒク



例え全身の皮を
剥がされようとも
魔物には与さない!



まだご理解
されてないようだ

お楽しみは
これからデスよ



貴方には
そいつら全員の

ヤメツ…

あ…や



相手をして
もらいマス
からねえ♡









騎士の…務めを…

あー

イク

イク

また
イク

務めを…
果たすんだ…

急ぎ王都に…帰還し…

あー
あー
レボッ

レボッ

レボッ

ハッ

はーん

レボッ

あー

あー
あー

魔神の跳梁を…
皆に知らせ…ねば…





…急ぐ？…あれから…
どれだけ…時間が過ぎた？

ダメだ…
あ…頭…真っ白で…
何も…考え…られな…





人間の…
男なんか…

どうかしてるぞ…



何やってんだ…俺…

クチュッ

クチュッ



もうすぐ貴方の
心と身体は
私のものになる



フッフフ…

大分仕上がって
きマシタねえ…





おおお！
素晴らしい！



ねっとりと
絡みついて
離れマセン！

あー！



ああ、貴方は実に
素晴らしい

貴方の肉体は
淫らな輝きを
増していく！

何度絶頂を迎えても
肉の棒を咥えこんで
離そうとしません！

幾日も
犯されてなお

あの数の
オークや
ゴブリンに

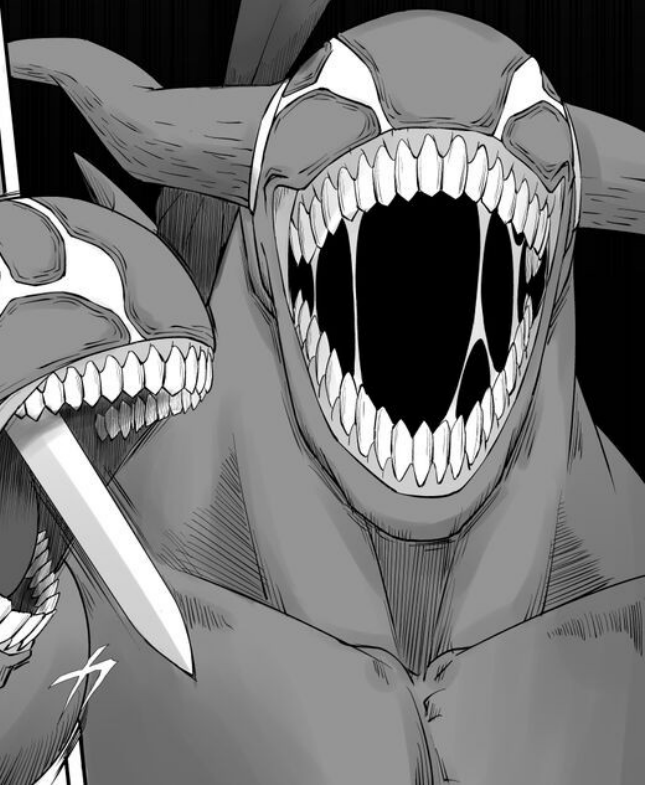


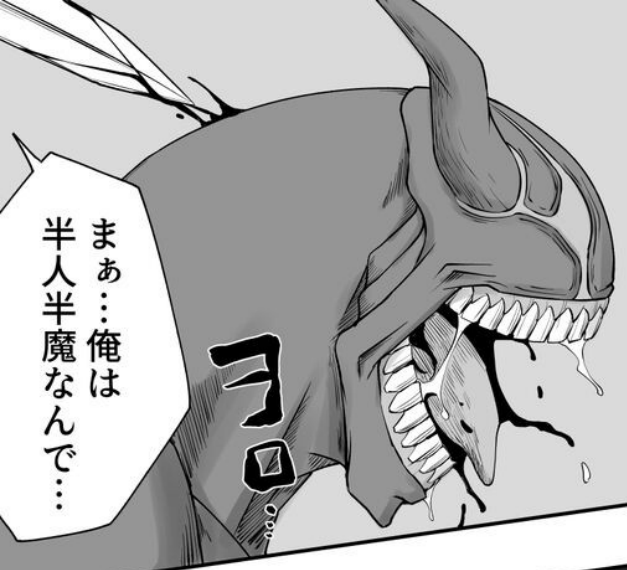
素晴らしい
生命力と
回復力デス！

これが
「聖霊の加護」
というもの
でシヨウカ

でも皮肉デスねえ！
その聖騎士としての
力が強ければ強いほど

あなたは
我々にとって
最っ高の玩具に
なるのデスから！





まあ…俺は
半人半魔なんで…



いや…
ほんと…

何やってんすかね
…俺…



おい

レイナード
さまー



起きて
くださいーい

…ん？



あ…
良かった

具合は
どうっすか？



気が向いた方に
つくんすよ

君か：良かった：無事だったんだな

あー…

ええ、まあ…どうってことねえっす…

ほら、立ってください

ほんと、どうかしてるぜ…

あいつにこの男をくれてやるのが…

なんだか惜しくなっちゃった…

早くここを離れないと

オーク達に気づかれたら厄介だ

そんなことより……

ん？

